

第五次町田市子ども読書活動推進計画（案）
市民意見募集実施結果

2024 年 12 月
町田市

第五次町田市子ども読書活動推進計画（案）
市民意見募集実施結果

「第五次町田市子ども読書活動推進計画」の策定にあたり、以下のとおり市民の皆様のご意見を募集いたしました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

ご意見につきましては、本計画の策定及び今後の市政の参考にさせていただきます。

1 意見募集の期間

2024年9月18日～2024年10月17日

2 市民意見募集の周知

広報まちだ9月15日号、町田市立図書館ホームページ、X（旧:Twitter）

3 配布（閲覧）場所

各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習総務課、生涯学習センター（9月30日まで）、広聴課（市庁舎1階）、市政情報課（市庁舎1階）、各市民センター、各連絡所、各子どもセンター

4 募集方法

メール、ファクシミリ、窓口、郵送

5 意見の内訳

4名から8件のご意見をいただきました。ご意見の項目別の内訳は以下のとおりです。

（おひとりから複数のご意見をいただいた場合は、主旨ごとに分割して集計しています。）

第1章 町田市子ども読書活動推進計画の概要		—
第2章 子ども読書の状況		—
第3章 計画の基本的な考え方		—
第4章 計画の取組		6件
内訳	基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り	（1件）
	基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り	（5件）
その他		2件
計		8件

6 ご意見の概要とご意見への対応

とりまとめの都合上、いただいたご意見は要約し掲載しています。

第4章 計画の取組

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	「まちとも」(放課後教室開放事業)で、図書室を使っているのに、子どもが本に触れることが禁止されているため、「まちとも」で本を読めるようにしてほしい。	まちともは、地域のボランティア団体である「まちとも運営協議会」が学校の余裕教室や特別教室を借りて実施しているため、適正管理の観点から、図書室利用については一部制限されることがあります。 いただいたご意見を参考に今後もサービス向上に努めてまいります。
2	もっと図書館の本棚を充実させるべきである。購入費を増やさずに図書館の魅力向上はできない。	子どもたちの興味を引くような本や調べ学習に対応できるような本など、さまざまなニーズに幅広く対応できるよう、図書の充実にも努めてまいります。
3	図書指導員が、毎日いるわけではないため、全ての学校で週5日、司書を配置してほしい。	学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討する中で、配置日数等についても考えてまいります。
4	学校司書配置については、学校図書館ガイドラインで想定されているように一校専任で常勤が望ましい。学校司書の常勤常駐配置を求める。 児童が登校してから下校時刻まで毎日開館することが、日常的に本に触れる環境を用意することになるからである。学校図書館法に規定された目的を達成し、不読率の改善をするためには児童や教員のレファレンスに corres える能力がある学校司書が常駐する必要がある。常駐することで授業支援が活発に行われることになる。	学校図書指導員に加えて司書、司書補または司書教諭の資格を有する方を巡回型職員として任用するなどのモデル事業を進めていく中で、配置日数等についても考えてまいります。

5	図書指導員制度が継続するのであれば、司書に相当する能力を身につける必要があると考える。最低でも分類ができなければ配架は独りよがりなものになってしまい、児童がNDC(日本十進分類法)とは何かを学ぶことができない。週に一回程度の巡回では資料の組織化・最適化には途方もない時間がかかる。 図書指導員制度を継続する場合は、司書相当の能力向上とボランティア扱いの終了を求める。	学校図書指導員に加えて司書、司書補または司書教諭の資格を有する方を巡回型職員として任用するなどのモデル事業を進めていく中で、学校図書指導員の研修等の在り方についても考えてまいります。
6	現在の学校図書館担当者研修は、図書指導員がボランティア扱いのため全員の参加を要請できず、いつも参加する人と全く参加しない人に分かれてしまっているのではないか。 「学校司書のモデルカリキュラム」に沿った研修と参加率の向上の工夫が必要だと考える。	

その他

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	子どもに読書を推進するという意識がありながら、図書館を再編するというのは矛盾していないか。身近なところに図書館があるか、ということは子どもの読書推進に大きく影響を与える。 自治体がすべきことは、不読率が高くなったから図書館廃止にすることではなく、不読率を下げられるように図書館を整備することではないか。 統合・廃止を前提とした計画策定・意見募集を中止してほしい。子どもの未来のために、考えなおすことを求める。	将来にわたり図書館サービスを継続していくために、「町田市公共施設再編計画」に基づき、近接している図書館がある場合や、利用状況が大きく減少している場合には、施設の老朽化の状況を見ながら再編を進めています。 今後も地域の皆様のご意見をうかがいながら、再編を進めてまいります。
2	親子や祖父母と孫の間で、①図書館に行き、図書館の人に案内してもらい、②親や祖父母のおすすめの本を伝え、ひもとき、読み合わせる、③感想文をかく、などの	今後の子ども読書活動推進の取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。

	取組ができれば良いと思う。 読書離れを加速させる残念な 事態にあっても図書館関係者や 市民の取組が大切だと思う。	
--	---	--